

講義名	経営組織論		
科目区分	学部専門科目		
担当教員	濱本 隆弘		
開講期・曜日・時限	後期 月曜日 2時限		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	12030

主題と概要

組織とは我々人間の能力の限界を克服するために形成されるもので、それをもって人間社会の進歩が実現された。「組織の時代」である現代をよりよく生きていくためには、組織というものを理解することが不可欠である。経営組織論は、我々の日常生活に密接な関わりを持つ企業という組織を研究対象としている。

本講義では、現代経営と組織というテーマで講義を進めていきたい。つまりここでは、現代の高度化した産業社会における企業の絶え間ない変化を見る中で、企業経営はどのような問題に直面し、それにどの様に対応しているのかを企業の組織と管理を通じて明らかにする。できるだけ現実の社会で発生している企業の事例を取り上げ、それを組織や管理の視点から考察していきたい。

到達目標

本講義では、毎回ケース（事例）を使用して、理解を深める。組織のあるべき方向を探ることで、組織は激変するビジネス環境に対していかなる適応力を持つべきかを考える。

本講義を通じて企業という組織の中で働く自分をイメージしてもらい、就職活動に向けて、職業選択や企業選択を行う上での選択眼を養う。

提出課題

中間レポートや課題の提出を求める可能性があります。

評価の基準

定期試験（60％）
 後期中頃のレポート（20％）
 数回の簡単な課題（20％）で評価を行う

課題提出の回数が多くなった場合（4回程度）は
 レポートは実施せず
 課題の比率を40％にする

出欠調査は行わないので、出席点はありません。

履修にあたっての注意・助言他

- この講義は、講義中に提示されるパワーポイントのスライドを中心に、テキストは特に指定しない。
 講義内容のスライドはすべて流科ポータルからダウンロードできるようにしてあります。
 スライドのアップやダウンロードのタイミングは講義中に指示します。
 プリント資料なども、必要なものはすべてダウンロードするようにしてあります。
 こちらからプリント配布は一切行いません。
 講義開始までにダウンロードの方法を確認しておいてください。
- 出席調査は行わず、上記の講義中に提出する課題で出席点に代える。

教科書

・テキストは指定しない。

プリント資料及び参考文献

プリント資料適宜
 流科ポータルより受講生自身でダウンロードすること。

参考文献
 谷口和弘 『組織の実学 個人と企業の共進化』NTT出版、2008。
 田尾雅夫編著 『よくわかる組織論』ミネルヴァ書房、2010。
 桑田耕太郎 / 田尾雅夫 『組織論』有斐閣、1998。

授業計画

- * 組織とともに進化する（個人と組織の共進化）
 第1回 ケース1 ミートホープ
- * 組織を動かせたかどうか（リーダーシップ）
 第2回 ケース2 村上世彰
 第3回 ケース3 松下幸之助
 第4回 ケース4 スティーブ・ジョブズ
- * 分業とコーディネーションの形（組織形態）
 第5回 ケース5 ソニー
 第6回 ケース6 セブアンドアイ・ホールディングス
- * 組織で共有された特有（組織文化）
 第7回 ケース7 松下電器
 第8回 ケース8 トヨタ自動車
- * 市場も適宜に利用する（組織境界）
 第9回 ケース9 富士フィルム
 第10回 ケース10 ホンハイ
- * 制度をまとめて組織を作る（組織デザイン）
 第11回 ケース11 福岡飲酒運転事故
 第12回 ケース12 Y K K
- * 組織を変える（組織イノベーション）
 第13回 ケース13 松下電器 2
 第14回 ケース14 映画『スーパーの女』
 第15回 資生堂

予習・復習

講義で使用するスライドや資料は流科ポータルにアップしてあるので、自分でダウンロードして、予習・復習に使用すること。必ず1週間前には講義スライドをポータルにアップします。

講義中にダウンロードの指示があったら、次回の講義に合わせて随時予習をすること。また、ダウンロードは定期試験終了時まで可能にしてあるので、復習や試験勉強にも使用すること。

備考

「経営組織論」は基本編、「経営組織論」は応用編として運営される。
 「経営組織論」（2単位 月2）は、現カリキュラムにおける「経営組織論B」（2単位 月2）と同じ時間、同じ教室で開講されるが、履修上は別科目であるので、注意すること。

オフィスアワー